

会長のもとで、住みよい町づくりを推進する人たちです

☆地区代表の皆さん方です

よろしくお願いします！



上宿 (関口真之、吉田一男)



下宿 (北爪智啓、小畑 敏)



中荒牧 (相田義夫、丸山雄二)



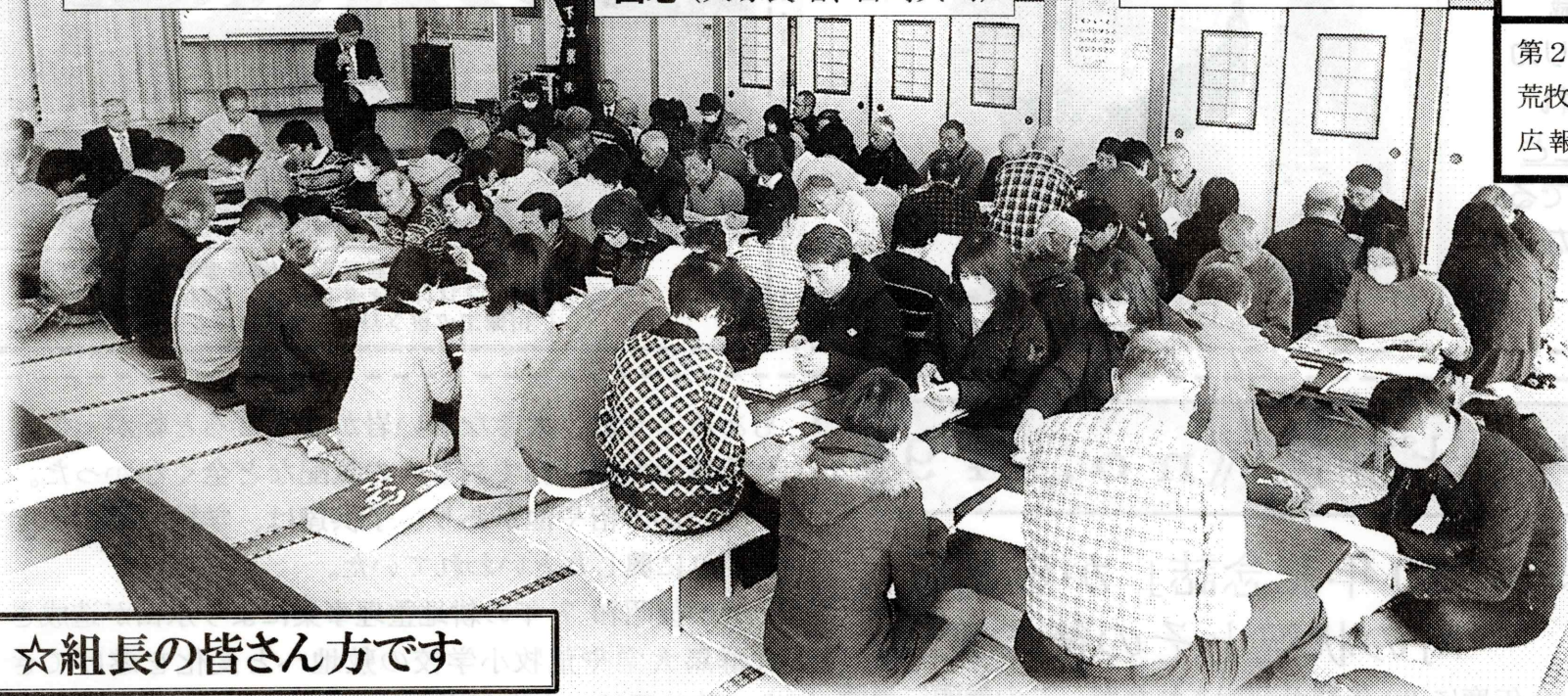
新田東 (都丸仁一、山田典彦)



団地 (大塚良昭、宮崎真司)



事務局 (養田成美)



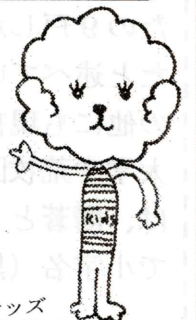
第203号
荒牧町自治会
広報委員会

第一回組長会議の様子
3・17

☆組長の皆さん方です

地区	組	氏 名	地区	組	氏 名	地区	組	氏 名	地区	組	氏 名
上宿	1	宮下 陽介	新田東	20	養田 純夫	中荒牧	37	西脇 武	団地	52	古谷 秋雄
	1-2	津久井平男		20-2	浅野 信吾		37-2	宮本 大資		53	新保 岸雄
	2	鯨井 一民		21	清宮成之亮		38	高橋 正士		54	廣田 晋也
	3	遠藤 和範		22	渡邊 正美		39	未定		55	萩原 義三
	4	萩原 陽一		23	小池 昌男		40	未定		56	杉山雄一郎
	5	宮下 滋子		24	西 雄二		41	中島 幸		57	大角フミ子
	6	内藤きみえ		25	鈴木 勇		42	竹腰 幸子		58	篠原 末男
	7	石橋 四朗		26	樋口 雄三		43	林 勝		59	中根 喜重
	8	永井 鉄平		26-2	宮崎 康晴		44	丸山 節子		60	高橋 香奈
	9	養田 秋夫		27	山田 直美		45	水沼めぐみ		61	富澤 孝史
下宿	10	山根 紀子	中荒牧	27-2	田村 治男	中荒牧	45-2	山田 好男	団地	62	折田 恒
	11	養田 輝夫		28	狩野 知子		46	島田 務		63	白倉 裕二
	12	都丸 英機		29	藤井 勇二		46-2	安齋 由佳		64	近藤 和博
	13	高橋 照夫		30	高橋 豊		47	竹ノ内光男		65	高橋 弘
	14	山田 勝之		31	楯 敬次		47-2	伊丹マサル		66	西村 和也
	15	鈴木 則夫		32	市川 悦子		47-3	池ノ上浩司			
	16	町田 時夫		32-2	廣井 敏之		47-4	藤原 宏昇			
	17	柳澤三千男		33	高橋 秀法		48	中尾 剛			
新田東	18	高山 正雄	中荒牧	34	関 洋一	中荒牧	49	丸岡 和博	団地		
	18-2	伊藤 潤		35	山田 英之		50	照屋 保			
	19	横山 勉		36	宮下 三郎		51	福田 徹雄			

よろしくお願いします



アラマキッズ

6月2日(日)は、ヘルスバレー大会ですよ～！参加してね～

わが家のかわいいワンニャン

NO. 12

□なまえ

ミュー

□住まい

折田さんの家

□紹介

ちわわ

男の子

12歳

アメリカ

生まれ

□ひとこと

外にでると

おとなしく

なる



ここ、どこ？

(4)

この欄では、町内の気になる場所の写真を紹介していきます。さて、どこかわかりますか？



この写真は、荒牧小学校の敷地内にある、かつての荒牧小学校の校舎跡地です。現在は、荒牧小学校の敷地内にある、かつての荒牧小学校の校舎跡地です。

まちかど探検《no. 49》

「荒牧町30年記念誌」から見る
町の状況とその後の変化

昭和59年度に30年誌が刊行されたが、この巻頭に当時の都丸勝自治会長が「・・・顧みると昭和29年9月、当時の南橋地区13の村字は前橋市へ合併され、村名が町名となりそれまで親しまれてきた荒牧村の名は消失した。この時の荒牧町は世帯数126戸、人口は960人であった。・・・」と記している。

そしてこの町誌によると市に合併した昭和29年度より58年までの30年間に延べ30人の区長と自治会長が、その任に当たっていた。この中で42年度の養田隆次郎会長は前年まで区長であったが養田会長は第14代で初めての自治会長となった。この年度には世帯数は410戸と大巾に増加している。

町の変遷の様子を表す大きな要素は何と言っても人口の増加にある。その一つの例が昭和33年度(山田完治区長当時)の東荒牧(国道東)の世帯数はたったの9戸しかなかったと述べている。この他にも現在の群馬大学や荒牧団地の辺は、鬱蒼とした松林で小字名(黒岩)に



群馬大学敷地に残る昔の面影

もあるように、大きな黒い岩がごろごろと転がっており荒牧山と呼ばれており人の気配など全くなかった。いくつかの沼や池があり、子供達は、学校が終わると魚釣りに興じたといわれていた。

その後昭和7年の耕地整理事業により水田が造成され群馬大学や荒牧小学校の敷地へと変化を遂げてきた。荒牧団地に人家が増え始めたのが昭和37年度頃からであり、群馬大学の開学が44年、荒牧小学校の開校が48年であった。

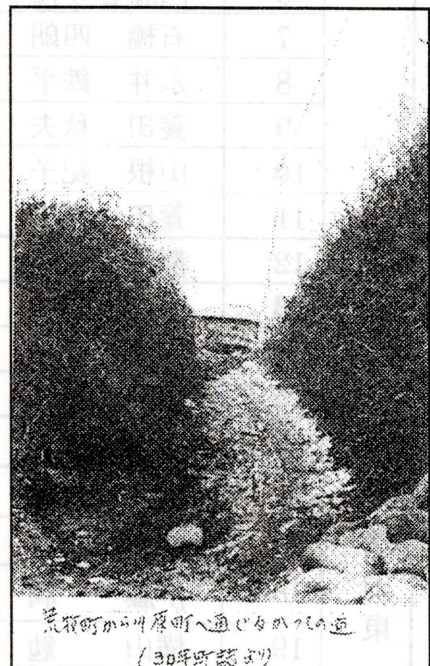
市役所の資料によると、52年度は1179戸、人口は3536人の数字が見られ、平成27年では世帯数2480戸、人口は5463人である。

なお、30年誌に掲げられている施設は老人福祉センター、老人ホーム寿楽園、群馬県青少年会館、群馬朝鮮初級中学校等が存在している。

意外と気が付いていない町民の方も多いと思われるのが、国道を挟んで一町に小学校が二校ある。

平成11年3月には上毛大橋が開通し川原町へは自転車でも危なかった石ころだらけの道が、吉岡町へも安々と行けるようになり往時を思うと全く夢のようである。

(赤松)

荒牧町から川原町へ通じる古い道
(30年町誌より)